



# 木刈中タイムズ

No. 1

心身ともにたくましく 自ら学び 共に生きる生徒  
—笑顔・感動, はつらつ木刈—



## 新年度を迎えて

印西市立木刈中学校長 泉水 真由美

1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。  
そして、2・3年生の皆さん、進級おめでとうございます。  
令和8年度がスタートしました。

1年生は、中学校の生活に早く慣れ、様々なことに積極的に挑戦し、この木刈中学校で皆さんの力をさらに伸ばしてください。2年生はクラス替えがあり、戸惑いもあるかもしれませんが、新たな出会いもあります。この出会いを大切に、新たな仲間を作っていくとともに、自分達にしかつけない学級をつくってほしいと思います。また、先輩と呼ばれる立場にもなります。1年生に皆さんが優しく教え、よきお手本となってください。3年生は、木刈中学校の中心となり全校を牽引していく立場となります。これまでのよき伝統を引き継ぐとともに、改善すべきところは見直しを図り、よりよい木刈中学校をつくってほしいと思います。

さて、年度の初めですので、木刈中学校の学校教育目標について確認しておきます。

『心身ともにたくましく 自ら学び 共に生きる生徒 —笑顔・感動, はつらつ木刈—』

『心身ともにたくましく』とは、心も体も健康で自分の意思をきちんと持ち、自分自身にしっかりと向き合う力があることです。心身の健康に気をつけながらも自分自身と向き合い、さらに周りへ発信していく力も培ってほしいと思います。

そして『自ら学び』に関してですが、教科の授業を通して、学び深めていくことはもちろんですが、様々な体験を通しての学びも大切です。知識を得るとともに将来に向かって生きる力も身につけてください。

最後に『共に生きる』についてです。「思いやりの共同体」をめざし、仲間の大切さを実感しながら、互いに切磋琢磨して学校生活をおくることを目指してください。

ここで、「思いやりの共同体」という言葉がでてきましたが、これについて触れておきます。学校生活で基本となるのは学級です。自分の学級によさを感じ、他の学級に対して誇れるものを創り、学年が変わるとき、また卒業の時に「この学級でよかった」という気持ちが生まれる集団のことです。自分の学級の仲間の喜びを自分のことのように喜べる集団であってほしいと思います。

そして、生徒目標の『笑顔であいさつ ひびけ歌声 活かそう時間 心で清掃』も意識しながら、今、この時を大切にして、一度しかない中学校生活を充実したものにしてください。

保護者の皆様には、いつも本校の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。中学校時代は、心身ともに大きく成長する時期であるとともに、多感な時期でもあります。様々なことに思い悩んだりもすると思います。我々教職員も生徒の気持ちに寄り添い、指導をしてまいります。保護者の皆様の存在が子ども達にとっては、何者にも代えがたい大きなものです。学校や地域と協力し合い、子ども達の更なる成長のためお力添えいただきますよう、よろしくお願いいたします。

### 【いじめ相談】

塚本健司(教頭)・榎澤崇宏(教頭)・菊池秀憲(生徒指導主事)・本田悠・安西太一・蝦原拓弥  
杉森弘美(養護教諭)・荒牧夏実(養護教諭)

### 【セクハラ相談】

塚本健司(教頭)・榎澤崇宏(教頭)・小埜沢さやか・岡本里美・賀集瑞帆  
杉森弘美(養護教諭)・荒牧夏実(養護教諭)

## 新学期の抱負

### 2年生代表



昨年度、私たちは木刈中学校に入学しました。初めて話す人、小学校の時とは違う生活やルール。慣れないことばかりで緊張の連続でした。しかし、頼れる先輩方、先生方のおかげで学校生活のあらゆる場面での基本を覚えていくことができました。

今日から私たちは2年生です。もう教えてもらう側ではありません。今まで先輩方がしてくださったことを今度は入学してくる1年生に教えていく番です。1年生のお手本になるよう、何が正しいことなのかを自分たちが行動で示さなくてはなりません。その

ために大切なことを2つ話します。

一つ目は、「思いやりを持つ」ということです。後輩から尊敬してもらえる先輩になるため、誰に対しても「気遣い・考えて・行動する」ようにしていきましょう。後輩を気遣うことはもちろんですが、そのためにクラスや学年の中で仲間と笑顔で接するようにしましょう。

二つ目は、「メリハリをつける」ということです。昨年私たちは、楽しむときと集中するときのメリハリはできているときも多くあったのですが、2年生からは「言われて」からではなく、「自分たちで気づいて」できるようにしていきたいと思います。

今日から私たちが2年生です。木刈中学校の中堅学年として、3年生をサポートし、1年生を導き、より良い木刈中学校を築けるよう学校生活を送っていきましょう。

### 3年生代表

春休みが終わり、いよいよ今日から新しい学期が始まります。私たちは今日から3年生。この学校の「最上級生」という立場になります。勉強や部活動はもちろんですが、これからは学校生活のあらゆる場面で、後輩たちの道しるべとなる存在でなければなりません。



では、私たちが最上級生として求められる「具体的な姿」とは、どのようなものでしょうか。

「最高学年になったけれど、何をすればいいのかわからない」と感じている人もいるかもしれません。まずは、日々の当たり前前行動を見直すことから始めてみましょう。例えば、「挨拶」です。自分から先に、元気に声をかける。それだけで校内の空気は変わります。また、「行事や委員会活動」では、指示を待つのではなく、自ら進んで準備や片付けに動く姿を見せていきましょう。

「部活動」においても、技術を教えるだけでなく、道具を大切に扱う姿勢や、苦しい時に声を掛け合う姿勢こそが、後輩たちの心に響く「先輩の姿」です。

そして、この一年、私たちにはもう一つ向き合わなければならない大きな課題があります。それは、「自分自身の進路」です。これからは、自分の将来を真剣に見つめ、一步一步、納得のいく選択をしていかなければなりません。時には迷ったり、壁にぶつかったりすることもあるでしょう。しかし、その悩みこそが成長の糧となります。「3年生としてふさわしい姿」とは、何かに向かって直向きに努力し続ける姿でもあります。

「先輩」という立場は、単なる肩書きではありません。日々の小さな「行動」と「決意」の積み重ねで示していくものです。3年生は「学校の顔」として、あらゆる場面で注目される存在になります。最上級生として誇れる姿を目指し、一人ひとりが日々の生活や意識をアップデートしていきましょう。個人としても、そしてこの学年という集団としても大きく成長し、この一年を「最高の集大成」にしていきましょう。

## 入学式より

### 歓迎の言葉



咲き誇る花々が、私たちの新たな出会いを温かく見守ってくれる季節となりました。新入生の皆さん、本日はご入学おめでとうございます。私たち在校生は、皆さんの入学を心待ちにしていました。

皆さんは今どのような気持ちでいますか。新たな出会いや中学校生活に期待し、わくわくする反面、環境の変化に不安や緊張を感じているのではないのでしょうか。しかし、安心してください。木刈中学校には、頼りになる先生方や優しい先輩たちがいます。困ったことがあれば、私たち先輩をぜひ頼ってください。必ず皆さんを支えます。そして何より、これからの学校生活を共にするたくさんの仲間がいます。素敵な仲間と共に、かけがえのない思い出を作っていきましょう。皆さんの、新たな物語のスタートです。

私が木刈中学校生活で自慢に思うことは、なんといっても行事です。まず、秋陽祭で行われる、合唱コンクール。先輩方のきれいで力強い歌声やクラスの一体感に心を打たれます。そして、紅・白・青の三色に分かれて必死に戦う体育祭。全校生徒で行うソーラン節は、圧巻の演技です。皆が心をひとつにして行う応援も、大迫力です。木刈中学校の生徒は仲間との絆が強く、皆で協力して物事に取り組むことが得意です。皆さんも今日からその一員です。私たちとよりよい学校を作っていきましょう。

また木刈中学校には、「笑顔であいさつ」「ひびけ歌声」「活かそう時間」「心で清掃」という四つの生徒目標があります。木刈中学校の一員となった皆さんにも、大切にしてほしいです。今日から早速、「笑顔であいさつ」を始めましょう。すぐに新しい友だちができるはずですよ。

世界中には、戦争で学ぶ機会がない子どもたち、家庭の事情や病気で学校に通えない子どもたちがたくさんいます。学校に通えること、友だちと笑い合い、時にケンカすること。そんな生活の一つひとつがあたり前ではなく、幸せなことであると感謝の心を持ちながら、私たちと一緒に、中学校生活を全力で楽しみましょう。

これからの皆さんのご活躍と、一生に一度の中学校生活が素晴らしいものとなることを心からお祈り申し上げます。歓迎の言葉といたします。

### 誓いの言葉

やわらかな春の日差しが心地よく感じられるこの良き日に、私たち239名は木刈中学校に入学します。本日は、私たち新入生のためにこのような立派な入学式を行っていただきありがとうございます。今日から始まる学校生活に大きな期待と、少しの不安を抱きながら、この日を迎えました。

思い返せば6年前、小学校への期待に胸を膨らませていた私たちは、新型コロナウイルスの影響により、入学式の延期という予期せぬ事態に直面しました。新しい仲間との出会いも遠のき、先の見えない不安が続きました。しかし、その困難な日々の中で、私たちは家族や地域の方々の温かな支えを知りました。当たり前の日常がいかに尊いものか、そして人とのつながりがいかに大切か、この6年間で学んだその教訓は、私たちの心に深く刻まれています。

今日、こうして皆で揃って門出を迎えられた喜びを胸に、これから始まる中学校生活では、勉強や部活動、学校行事に全力で取り組みます。時には壁にぶつかることもあると思いますが、ここにいる仲間と励まし合い、どんな困難にもあきらめず挑戦し続けることを誓います。まだまだ未熟な私たちですが、中学生としての自覚を持ち、支えてくださる方々への感謝を忘れず、一歩ずつ前進していきます。先生方、先輩方、どうか温かいご指導をお願いします。また、本日ご列席の皆様、お父さん、お母さん、これからも私たちの成長を見守っててください。一日一日を大切に、中学校三年間を過ごしていくことを約束し、誓いの言葉といたします。

